

健診検査センターニュース

No.463 号

運営委員会より

1 月 19 日（木）平成 23 年度第 10 回の委員会を開催いたしました。

所長より、本年は反騰の年にしなければならない。まだ、震災、原発の傷が癒えぬ中、世界的な経済の行き詰まり感が急速に広がるなど厳しい状況ではあるが、皆で知恵を出し合い、力を結集して乗り越えて行かねばならないとの年頭の挨拶がありました。

1. 特定健診 12 月の実施件数は、下記のとおりでした。

	12 月受診数 (前年比)	累 計 (前年比)	函館市国保受診率 12 月現在 / 目 標 18.4% / 30.0% 達成率：61.3%
函館市国保	702 人 (-45)	9,368 人 (+ 598)	
後期高齢者	118 人 (+38)	985 人 (+ 400)	
その他	271 人 (+12)	1,606 人 (+ 34)	
合 計	1,091 人 (+ 5)	12,959 人 (+1032)	

個別健診実施機関：96 施設 / 登録機関 111

- 1 月に函館市国保より未受診者に向けての受診勧奨ハガキが送付されました。2 月から受診者が伸びてくると思われます。ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
- 24 年度特定健康診査に関する北海道医師会との契約について、実施医療機関登録の受付を開始しました。申込期日は 2 月 10 日です。詳細は函医ニュースをご参照ください。

2. 23 年 12 月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	12 月 (前年同月比)	23 年度累計 (前年比)
一般検査収入	108.1 %	99.5 %
健診収入	119.2 %	112.0 %
合 計	112.8 %	104.6 %

3. その他

- ① 職員 1 名の休職と臨時職員 1 名の退職が報告されました。
- ② 函館市医師会員・家族並びに従業員の定期健康診断（一期目）の実施報告がありました。62 医療機関から 347 名の受診があり、過去最高の受診者数となりました。
- ③ 函館市医師会員・家族並びに従業員の定期健康診断（二期目）の予約受付は、函医ニュースでご案内のとおり 1 月 30 日（月）～2 月 3 日（金）となっております。一期目未受診の方は、是非ご利用ください。
- ④ 平成 22 年度の健康診断事業報告の発行について、会員の皆様に CD 版を 3 月中に配布いたすことになりました。お届けの際にはご照覧頂きますようお願い申し上げます。

《 ちょっと一言 》

新年明けましておめでとうございます。

去年の年末から年始にかけて、大好きなタイのプーケット島にてリフレッシュしてきたつもりですが、函館からだと飛行機4回乗り継ぎで行かなくてはならず、逆に疲れが溜まってしまったと後悔している平山です。（例年は2回位で行けるのですが・・・）今年も、当健診検査センターならびに「ちょっと一言」のコーナー併せてよろしく願います。

今回は7泊9日というスケジュールで大好きなプーケットへ行ってきましたが、私がタイ（といってもプーケットです）が好きな理由が3つあります。

1つはとても笑顔の人が多く、決して裕福ではないとしても、のびのびと生活していて、幸せな感じにさせてくれます。（現実はどうでもないんでしょうけど・・・）

もう一つは、「コップンカップ」＝「ありがとう」って言葉の響きがとても好きなのであります。

両手を合わせて「コップンカー」（女性用の言葉です）って言われると、相手がどんな容姿であれ・・・（笑）、こっちも笑顔で「コップンカップ」と、応えてしまいます。

また、プーケットはとても田舎街なのですが、バングラ通りといって、僕には調度良い位のナイトライフが楽しめるところがあるという事です。

朝方まで、クラブ音楽が店外にまで溢れ、そこだけ新宿歌舞伎町に居る感覚にさせてくれます。これが、銀座や六本木、すすきのはなく、歌舞伎町ってところにプーケットの良さを感じさせます。（・・・と言っても、歌舞伎町には暫く行っていませんが・・・）

しかし、この賑やかな通りから1歩内に入ると、緑に囲まれた広大な敷地とプールを有するホテルがあり、敷地内はとてもものんびりとした閑静な佇まいであり、痛いくらいの日光を浴びながら読書なんかをするにはもってこいの空間が広がっています。

まさに、slow life な時を感じられる、至極平和な安らかな空間であります。

「微笑みの国、タイ」「hearty smiles Thailand」（恐らく造語だと思いますが）ゴルフ場も幾つかあるみたいなので、お時間がありましたら是非一度訪れてみてはいかがでしょうか？（僕はタイの観光大使とかではありません・・・）

この、微笑みの国でエネルギーをチャージし、今年は珍しく目標なんかもたててみました・・・。

「他人に甘く、自分に甘く」（笑）
今年も、微笑みで乗り切ろうと思っております。
今年も、どうぞよろしく願います。

（文責 広報部 平山繁樹）

検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
さてこの度、下記の検査項目内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日 : 平成24年2月1日(水) 受付分より変更

変更項目 : 5900 抗酸菌染色

	(新)	(旧)
検査方法	蛍光染色集菌塗抹法	チール・ネールゼン染色塗抹法
基準値	(－)	(－)
実施料 (判断料)	74点 42点 (「DO17」排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査の「1」) (微生物学的検査 150点) ＋ 注 集菌塗抹法を行った場合には、集菌塗抹法加算として、所定点数に32点を加算する。	40点 (「DO17」排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査の「3」) (微生物学的検査 150点)
備考	2月1日受付分の抗酸菌染色から新法に変更させていただきます。 請求明細書上の実施料の記載は、 細菌顕微鏡検査(蛍光を使用するもの)42点と集菌塗抹法加算32点を合計した74点 となります。	

参 考 :

鏡検による検出菌数記載法

記載法	蛍光法 (200倍)	チール・ネールゼン法 (1,000倍)	備考※ (ガフキー号数)
－	0 / 30 視野	0 / 300 視野	
±	1～2 / 30 視野	1～2 / 300 視野	G1
1+	2～20 / 10 視野	1～9 / 100 視野	G2
2+	≥20 / 10 視野	≥10 / 100 視野	G5
3+	≥100 / 1 視野	≥10 / 1 視野	G9

※相当するガフキー号数

財団法人結核予防会：新 結核検査指針 2000 第3章塗抹検査 より引用

新規実施項目のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
さてこの度、下記の検査項目を新規受託することとなりましたので、お知らせ致します。
何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

開始日：平成24年1月4日（水）より開始

開始項目：3408 IgA-HEV 抗体(定性)

依頼方法	総合検査依頼書の追加項目欄に、「IgA-HEV 抗体」とご記入ください。
検査方法	EIA
採取容器 (採取量)	① 分離剤入り採血管 (血液 2.0 ml)
保存方法	冷蔵保存
基準値	陰性
所要日数	3～9日
実施料 (判断料)	210点（「DO12」感染症免疫学的検査の「23」） (免疫学的検査 144点)

臨床的意義：

E型肝炎ウイルス（HEV）は、熱帯から亜熱帯の衛生状態が整っていない地域に常在するウイルスで、主に経口感染の後、急性E型肝炎を引き起こし、時に大規模な流行となる場合もあります。

従来、先進諸国では流行国からの輸入感染症と考えられていましたが、近年、渡航歴のない発症例が散見されています。それらの国内感染例とブタ、イノシシ、シカ等の動物からは、共通の国内土着のHEVが検出され、現在では動物を介した人獣共通感染症としてとらえられています。そのため、日本では、感染症法により届出が義務付けられている四類感染症に指定され、報告数は増加していますが、実際にはさらに多く存在すると推定されています。

E型肝炎は、経口感染後2～9週間（平均6週間）の潜伏期を経て発症し、一過性の急性肝炎を呈しますが、一部で劇症肝炎になり、特に妊娠晚期では劇症化しやすいという特徴があります。

このたび受託開始いたします本検査は、日本土着株と想定されるHEV遺伝子の3型と4型に対応しており、E型肝炎の感染初期から産生されるIgA-HEV抗体を検出することにより、成因不明の急性肝炎の診断に有用と考えられます。

E型肝炎の早期診断により、劇症化を防ぐ慎重な対応や潜在的な感染者への対応が可能になると期待されます。

固定報告書結果印字変更のお知らせ

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 さてこの度、固定報告書結果印字について結果成績値に結果判定 L・H の印字がかぶるというご不便をお掛けしておりましたが、一部印字の修正をすることになりましたのでお知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

開始日：平成24年2月1日(水)報告分より

- 変更箇所：
- 1.成績に印字される項目略称名が若干小さくなります。
 - 2.結果判定のL・Hの位置が左寄りにずれます。
 - 3.成績に印字される項目略称名がいくつか変更になります。

(新)						(旧)					
MET		MET				MET		MET			
その他1		他1				その他1		他1			
その他2		他2				その他2		他2			
PT	PT	H50.1以上	AN	11.0~14.5	秒	PT	PT	H50.1以上	AN	11.0~14.5	秒
PT活性値	PT%	L 10未満	AN	70~130	%	PT活性値	PT%	L 10未満	AN	70~130	%
PT-INR	INR	H4.38以上	AN	0.85~1.15		PT-INR	PTINR	H4.38以上	AN	0.85~1.15	
APTT	APTT			24.0~36.0	秒	APTT	APTT			24.0~36.0	秒
トロンボテスト	TT			70~130	%	トロンボテスト	TT			70~130	%

↑
変更項目略称名

(新)	(旧)
LDLケ	LDL計
PLT	血小板
BLAS	BLAST
INR	PTINR
ウロビ	ウロビリ

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
 TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580
 E-mail: hako-ken@sea.ncv.ne.jp